

季節の室礼

季節を盛る 言葉を盛る 心を盛る

「室礼^{しつらい}」とは一年の節目に、また人生の節目節目に“季節を盛る”“言葉を盛る”“心を盛る”ことを言います。行事とは行うことであり、先人の霊を招き、客人を招き、感謝の心を供すること。その時々季節にあわせて野菜や果物、花などを盛って、もてなしを形にし、心を込めて表します。



葉月(盆、精霊棚)

お盆はご先祖様がお戻りになるのをお迎えし、共に過ごし、お送りする行事。

ご先祖様が道に迷われないよう

迎え火の麻幹(皮をはいだ麻の茎)を焚き、

玄關には盆花を置きます。

家の中では、真菰^{まこも}の上に

ご先祖様の好きだった食べ物をお供えします。

水草である真菰は水面を意味。

ご先祖様は地面ではなく中空^{なかぞら}に戻られるとされ、水面を中空と見立てています。

胡瓜はご先祖様が乗る馬、茄子は荷物を載せる牛。

お迎え日には内に向け、

好きな食べ物でひとときをおもてなしした後、

外に向けてお送りします。

受講の感想

山本先生が、ご先祖様をお迎える様子を図で描いてくださり、とても理解しやすかったです。普段から、亡き祖父母や父を身近に想ってはいませんが、今回のお盆の室礼を通して、お戻りになるという感覚で接したのは初めてでした。日本の神様は訪れて来る神様であり、その神様(お客様)をもてなし振る舞うのが室礼

という先生のお話を聞き、日本は循環の文化ということにもつながるのかなと思いました。お稽古の後、今ある自分や家族はご先祖様のお蔭と、深く感謝した日でした。(熊丸梨奈)



山本三千子先生の著書:「室礼おりおり」(NHK出版)、「暮らしの室礼十二か月」(淡交社)、「[四季の行事]のおもてなし」(PHPエル新書)ほか。

提供: 室礼三千 (しつらいさんぜん)

東京都杉並区浜田山3-16-5 Tel 03-3304-7020 (火~土曜日午前10時~午後5時/日・月曜定休日) ●体験教室もあります